

KARATEWEEK

—第 25 回全日本少年少女空手道選手権大会—

第25回全日本少年少女空手道選手権大会 大会実施要項

- 1 大会名 第25回全日本少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 後援 スポーツ庁 (公財) 日本オリンピック委員会 (公財) 日本スポーツ協会

予定

 東京都 (公財) 日本武道館 日本武道協議会 NHK
- 4 場所 東京武道館
 住所：東京都足立区綾瀬3-20-1
 交通：東京メトロ千代田線・JR常磐線 綾瀬駅東口 徒歩5分程度
- 5 期間 令和7年8月21日(木)～8月24日(日)
 - ① 8月21日(木) 1・4年生形競技・組手競技
 - ② 8月22日(金) 2・5年生形競技・組手競技
 - ③ 8月23日(土) 6年生形競技・組手競技
 - ④ 8月24日(日) 3年生形競技・組手競技
- 6 種目 小学1年生から6年生の男子・女子、形競技個人戦及び組手競技個人戦
- 7 参加出場枠 各都道府県空手道連盟から各種目4名選出できるものとする。
 - (1) 同一選手が形競技と組手競技の両方に出場することは認めない。
 - (2) 前年度大会の優勝者、準優勝者、第3位(2名)の計4名に当該種目の出場権及びシード権を与える。
 - (ア) 出場権及びシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、出場権及びシード権の繰り上げは行わない。
 - (イ) 出場権及びシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、または前年度と異なる都道府県から出場する場合、その選手は出場権及びシード権を失う。
 - (ウ) 出場権及びシード権を持つ選手の出場申込は、所属の都道府県空手道連盟を通じて行う。なお出場費はほかの選手と同様とする。
 - (エ) 前年度大会の準決勝戦において、優勝選手に負けた選手を第3シード、準優勝選手に負けた選手を第4シードとする。
- 8 競技規定 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定(2023年4月1日初版、新ルール)並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
- 9 競技方法
 - (1) 形競技個人戦
 - ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - ② 1回戦から準々決勝戦まではフラッグ方式、準決勝戦から決勝戦は得点方式により実施する。
 - ③ 1回戦から準々決勝戦までは2名同時演武、準決勝戦からは1名ずつの演武とする。
 - ④ 形の指定
 - (ア) 1回戦から準々決勝戦までは全空連基本形とする。同じ形を繰り返す。

返し演武することができる。

(イ) 準決勝戦は予選で演武していない基本形・第1指定形・第2指定形から選択する。

(ウ) 決勝戦は(ア)(イ)で演武していない基本形または指定形を選択する。

- ⑤ 同点の場合は以下の順番の解決方法により、勝敗を決定する。なお、再演武の形は、本戦で使用した形以外の形とする。但し、再演武で使用した形は、本戦で使用していない形であれば繰り返し演武することが可能である。

【同点の解決方法】

- ① 有効点のうち最低点の高い者
- ② 有効点のうち最高点の高い者
- ③ 再演武

(2) 組手競技

- ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
- ② 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
- ③ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとし、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。
- ④ 競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を勝ちとし、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。
- ⑤ 上記④でも決しない場合においては、当該審判団の判定により勝敗を決定する。
- ⑥ ビデオレビュー、プロテストは採用しない。

(3) 組手安全具は(公財)全日本空手道連盟承認の承認品を使用すること。

- ① 小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーⅦ、ボディプロテクター、インステップ・シンガード(白色)を装着すること。
- ② 小学3年生以上の男子選手は、セーフティカップを装着する。
(1・2年生は所属の指導者・監督、コーチの判断に委ねる)

※これら安全具は選手各自において用意すること。

※安全具に不備のある選手は出場することができない。

(4) 選手の服装について(別紙参照)

- ① 空手着メーカーについては指定しない。
- ② 空手着の紐は必ず結ぶこと。
- ③ 左胸に都道府県名を入れる。
- ④ 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。
- ⑤ 交付される全少ワッペンを左肩口に必ず縫い付けること。
- ⑥ 赤・青帯は(公財)全日本空手道連盟で検定された帯を各自で用意し、着用すること。

(5) 都道府県監督・コーチ・パーソナルコーチについて

- ① 都道府県監督は1名とし、コーチは4名まで登録することができる。
※都合により4日間を通して4名以上のコーチ登録が必要な場合は、資格条件を満たす場合のみ登録することができる。但し、コーチID

は最大4枚しか発行しないため、一度に入館できるコーチの数は4名までとする。

- ② パーソナルコーチは登録選手と同期し、他の選手のコーチはできない。
- ③ 監督・コーチ・パーソナルコーチは常にIDカードを携帯する。
- ④ 監督・コーチ・パーソナルコーチの服装は以下の通りとする。
 - ・ダークスーツを着用すること。
 - ・監督・コーチは、全空連指定ネクタイ（紺色）を着用すること。
 - ・パーソナルコーチは指定品以外の地味目な色のネクタイを着用することを可とする。（全空連指定ネクタイ【紺色】が望ましい）
 - ・女性はスラックス、スカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。
 - ・シューズはフロアを傷つけないものとし、派手な色合いは禁止とする。（サンダル不可）
 - ・全空連エンブレムの着用は不可とする。

10 表彰 (1) 文部科学大臣旗の授与について

男女別に総合得点最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。

(1) 国民スポーツ大会方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

- ① 形競技 1位8点、2位7点、3位5点（2名）、5位2.5点（4名）
- ② 組手競技 1位8点、2位7点、3位5点（2名）、5位2.5点（4名）

(2) 形競技・組手競技上位8名を表彰する。

※表彰式への参加は対象選手、監督、コーチ、パーソナルコーチとし、その他関係者の参加は認めない。

- 11 審判員 大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員により編成する。
- (1) 各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員として委嘱する。
- ※各都道府県は上記資格を有する審判員を最低2名以上推薦すること。
- (2) 大会審判員に不足が生じた場合、関東地区協議会の審判員から委嘱する。

- 12 監督会議 事前にオンラインにて実施する。
- 日時：令和7年8月5日(火) 19:00～20:00
- 方法：ZOOMによるオンライン開催とし、後日リンクを事務局に共有する。
- 内容：全少大会、パラ競技大会の順に説明する。

- 13 安全管理 (1) 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。
- (3) 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (4) 選手は、必ず健康保険証を携行すること。

- 14 参加資格 (1) 出場選手・監督・コーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。
- (2) 監督及びコーチは、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、

または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

- (3) パーソナルコーチの登録において資格の条件を求めないが、(公財)全日本空手道連盟会員登録を必須とする。
- (4) パーソナルコーチの登録において(2)の資格保有者はパーソナルコーチA登録とし、都道府県監督・コーチ同様にコーチ席に入ることができる。
また資格を保有しないパーソナルコーチはB登録としコーチ席には入れない。B登録者はコーチ席とは別の位置を設置する。
- (5) 出場選手は、各都道府県連盟が選出した代表選手であること。
- (6) 出場選手は、全空連公認段位または公認級位を保有していること。

- 15 費用
- (1) 出場費 1種目 1人 8,000円
 - (2) パーソナルコーチ登録費 1人 2,000円
- ※納入後の出場費と登録費の返金は不可。

- 16 申込方法
- (1) 選手・監督・コーチ・審判員の登録方法
 - ・全空連会員システムによるWEB申込とする。
 - ・出場費の支払いはクレジットカード又はコンビニ決済とする。

※各明細書を領収書の代わりとする。
 - (2) パーソナルコーチの登録方法
 - ・(1)の申込締切後、全空連が送付する所定の申込書にて申込みを行う。
 - ・申し込みおよび登録費の振込は都道府県空手道連盟にて一括で行うこと。

【パーソナルコーチ登録費振込先】

みずほ銀行 虎ノ門支店

普通 295526

ザイ) ゼンニホンカラテドウレンメイ

※申込後の変更は認めない。(監督・コーチ・パーソナルコーチの変更も不可)

- 17 申込期間
- (1) 選手・監督・コーチ・審判員の登録期間
令和7年5月12日(月)～6月8日(日)
 - (2) パーソナルコーチの登録期間
令和7年6月11日(水)～6月22日(日)
- ※期間後の申込は一切受け付けない。

- 18 宿泊等 宿泊・交通費は自己負担とし、各自で手配すること。

19 肖像権について

本大会は、大会の模様をインターネットのライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟及び関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォームにより応じる。

(<https://www.jkf.ne.jp/contactus>)

- 20 その他 (1) ゼッケンは主催者で作成し、7月中旬ごろまでに各都道府県連盟事務局あてに送付する。各連盟において出場選手に配布すること。
その際、ゼッケンをしっかり縫い付けるように周知徹底すること。
(2) 各コートでの受付（集合）時間に間に合わない場合は参加できない。
(3) 当日欠席する選手が出た場合、監督が選手受付場所に、欠席届を招集時間までに提出すること。
(4) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等にあたり、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
(5) 転倒等の雑踏事故防止のため、入り口付近の混雑が落ち着くまでの間、（会場から約1時間程度）は館外に出ることができない。

- 21 お問い合わせ 問い合わせについては、都道府県空手道連盟の担当者が行うこと。
※選手や保護者などからの直接のお問い合わせはご遠慮ください。

公益財団法人全日本空手道連盟 企画業務課 砂川雄飛 TEL : 03-5534-1951 E-mail : y-sunakawa@jkf.jp
--

22 会場使用上の注意

- (1) 大会前日から東京武道館入口周辺にブルーシート等を貼って場所取りをすること、飲酒することは禁止とする。
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただく場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)
(2) 大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行わないこと。
(館外での練習は終日禁止)
(3) 館内に靴を直で持ち込まないこと。
(靴袋は各自で準備し、必ず靴袋に入れてから入館すること)
(4) 観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること、大会各日終了後に荷物を観客席に置いて帰ることは禁止とする。
(5) 東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車することは控えること。
(なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。
(6) 館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。
(7) 観客席最前列の手すりに寄りかかり観戦することを禁止する。

●選手の服装について（別紙）

1. 参加章ワッペンについて

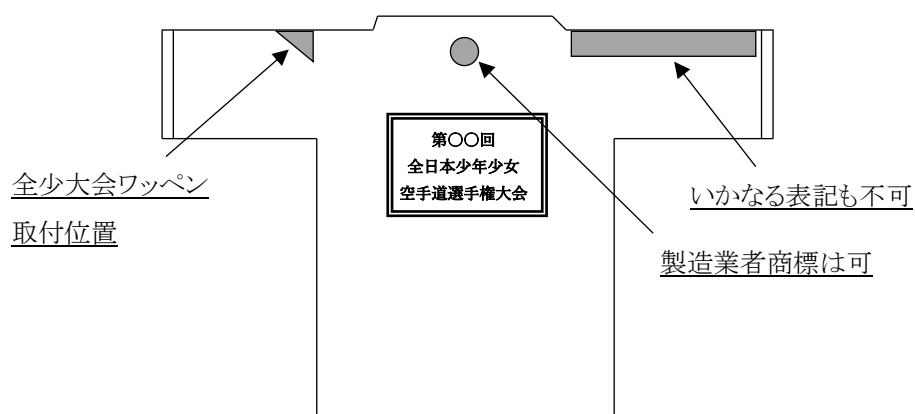
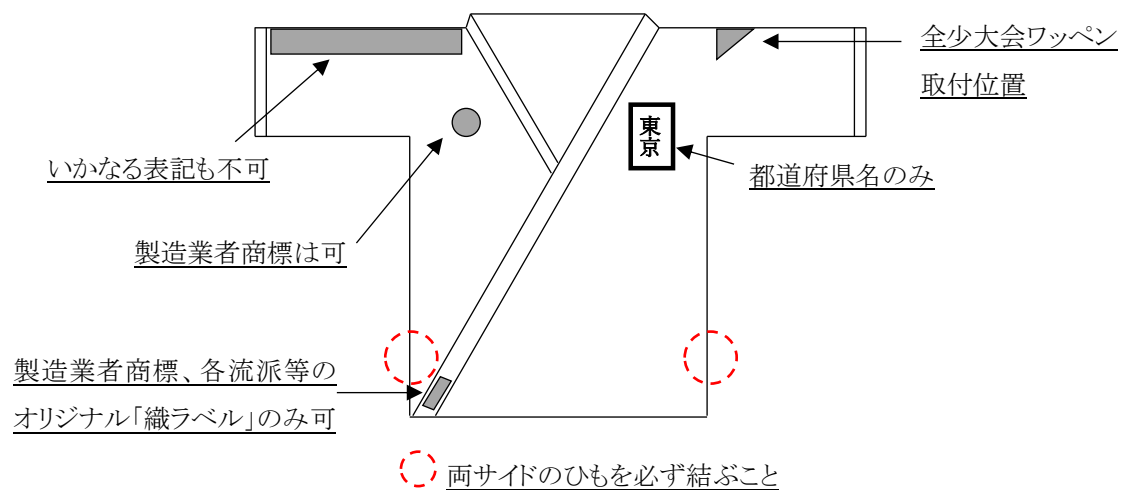
ワッペンは「左肩口」に必ず縫い付けること。

2. 空手着・帯について

（1）左胸「都道府県名ワッペン」のサイズは「縦 15cm×横 10cm」。※所属先ワッペンなどは不可

（2）氏名、都道府県ワッペン、参加章ワッペン、製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。

（3）帯の刺繍は可。（刺繍糸の色は問わない）



【監督・コーチ・パーソナルコーチについて】

★役割

	監督	コーチ	パーソナルコーチ A	パーソナルコーチ B
入場可能人数	各都道府県 1 名	各都道府県 4 名	選手 1 名につき 1 人	選手 1 名につき 1 人
アリーナへの 帯同	○		○ (単独での入退場不可)	
練習会場への 帯同	○		○ (単独での入退場不可)	
表彰式への 帯同	○			
コーチ席	○	○	○	×

●監督・コーチー全選手のコーチ席に着くことができる。

※アリーナへの入場は監督 1 名、コーチ 4 名までとする。

- ・監督 1 名、コーチ 4 名-コーチの権限を有する。
- ・その他登録コーチーコーチ 4 名と交代することができる。

—— 競技場、練習会場へ単独で入退場可能。

※但し、同都道府県の選手が残っている場合のみ。

—— 表彰式への帯同可能。

—— 競技の妨げがあった場合、アリーナからの退場を命じられる場合がある。

○パーソナルコーチー登録選手 1 名に帯同できる。

A コーチーコーチ席に着ける。＜競技規定違反等に抗議できる＞

B コーチーアリーナ内での帯同のみ。＜コーチ席に着けない＞

—— 競技場、練習会場への入退場可能。（1 人での入退場は不可）

※登録選手とペアでの入退場。

—— 表彰式への帯同可能。

—— 競技の妨げがあった場合、アリーナからの退場を命じられる場合がある。

アリーナ内での携帯電話の使用は禁止とする。
(特に試合の写真及び動画の撮影は禁止)